

シロオビトリノフンダマシ *Cyrtarachne nagasakiensis* Strand

【選定理由】

県内に広く分布するが、どの地域においても単独か数個体と少ない。おもに山間部の草地に生息するが、近年の開発等による減少が心配される。

【形態】

体長雌 6~8mm、雄 1.5mm。
頭胸部は赤褐色、腹部背面の地色は茶褐色で、横に黄白色~白色の帯がある。後方は淡黄色となるが、色彩は個体によって変異がある。



岡崎市八ツ木町(おかざき自然体験の森), 2005年8月2日, 緒方清人 撮影

【分布の概要】

都市公園から山地にいたるまで、広く分布する。

国内では、本州、四国、九州、南西諸島に分布する(新海ほか, 2018)。

【生息地の環境/生態的特性】

日中はイネ科植物の葉裏に脚を縮めて止まっている。夜行性で草間に同心円状の水平円網を張り活動する。

【現在の生息状況/減少の要因】

広範囲に分布するが、いずれの産地でも単独か数頭と少ない。開発などで生息環境が失われている。

【保全上の留意点】

開発時、ススキの草地を残すなどの配慮が必要である。

【特記事項】

従来、クロトリノフンダマシと呼ばれていたものは本種の色彩変異である(A.Tanikawa, 2001)。

【引用文献】

Akio Tanikawa, 2001. Two new synonymies of the spider genus *Cyrtarachne* (Araneae:Araneidae). *Acta arachnol.*, 50(1): 87-89.

新海 明・安藤昭久・谷川明男・池田博明・桑田隆生, 2018. CD 日本のクモ. 自刊.

【関連文献】

千国安之輔, 1989. 写真日本クモ類大図鑑. pp.82,216. 偕成社, 東京.

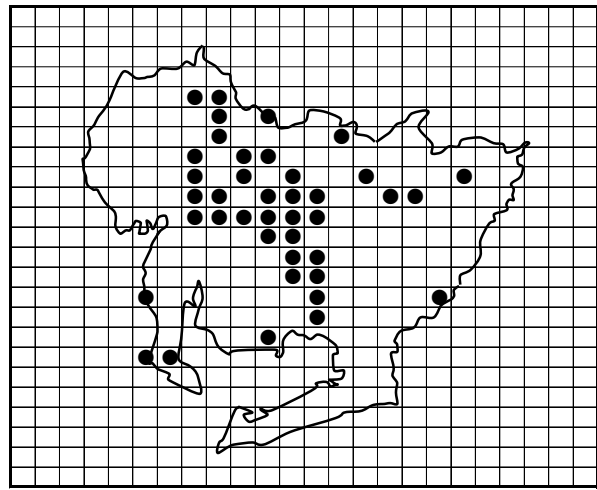
八木沼健夫, 1986. 原色日本クモ類図鑑. p.110. 保育社, 大阪.

新海栄一, 2006. 日本のクモ. p.163. 文一総合出版, 東京.

小野展嗣編著, 2009. 日本産クモ類, pp.428,623. 東海大学出版会, 神奈川.

小野展嗣・緒方清人, 2018. 日本産クモ類 生態図鑑, pp.168,514. 東海大学出版会部, 神奈川.

県内分布図



(緒方清人)